



# 日出谷小だより

学校教育目標 【明日をつくる日出谷の子】

桶川市上日出谷885 電話048-786-2880 児童数 465名 (令和4年9月1日現在)

## 国語にちむどんどん

校長 閑野 千鶴



「この学校に、ひがん花（曼殊沙華）はあるかな。」秋になると校地内を探してみます。去年は家庭科室の裏側あたりにめずらしく白いひがん花を見つけ、うれしくなりました。今年はまだ見かけません。

4年生の担任が、国語「ごんぎつね」の単元で、物語理解を色（彩語）の観点からせまるという授業に取り組んでいました。「墓地には、ひがん花が、赤いきれのようにさき続いていました。」「やがて、白い着物を着たそうれつもの者たちがやってくるのがちらちら見え始めました。」「いつもは赤いさつまいもみみたいな元気のいい顔が、今日はなんだかしおれていました。」（光村図書 小学校国語4年下より）この赤と白の対比から情景を考えます。児童から、色の感情をとらえた様々な考えが出されました。

5年生の担任は、「新聞を読もう」の単元で全国紙と地方紙の書きぶりの違いについて考える授業を行っていました。児童にとって新聞が身近でないことが、教師にとっては授業づくりのための気付きになりました。タブレット端末の新聞画面に線を引きながら比較し、ジャムボードの付箋機能で班ごとに意見を出し合います。児童がみんなの考えを主体的に整理している様子が見られました。

2年生の担任は「ことばでみちあんない」の単元で、実際に友達に道案内をしてみました。地図上では「上に行く。」ですが、案内するときは「前に進みます。」と表現します。なかなか難しい内容です。案内される側もタブレット端末の地図をたどりながら「待って、もう一回言って。」と真剣です。

国語は、授業中に練習問題を解くこともなく、算数などに比べると「できた、わかった」を実感しにくい教科です。だからこそその「AIにできない学習」「これから一層大切にしたい学習」「思考の基礎となる学習」です。「まずは教師が国語の授業にときめきたい。」と上に書いたような授業を校内に公開し、児童の反応に今年という言葉にするならちむどんどん（沖縄の方言で胸がわくわくする気持ち）をしています。その様子を10月28日、今度は市内の小・中学校の先生方に公開する予定です。

校内を歩いていると4年生の教室の花瓶に真っ赤なひがん花を見つけました。

### お知らせとお願い

#### 1 交通事故に十分気をつけましょう

令和4年9月21日（水）から30日（金）までの10日間は、「令和4年秋の全国交通安全運動」の期間です。日没時間が急激に早まる季節を迎えています。歩行中や自転車乗車中、特に道路を横断する際の交通安全について、学校でも子供たちに話をしますが、ご家庭でもお話しくださいますよう、お願いいたします。

#### 2 10月12日（水）の登校について

10月12日（水）（予備日14日（金））は、6年生が桶川市小学校体育大会出場のためいつもより早く登校し、登校班にいません。班によっては班長が不在になります。保護者の皆様には可能な範囲での登校の見守りをお願いいたします。

#### 3 教育相談のご案内

スクールカウンセラー出勤日は10月19日（水）午前、11月16日（水）午後の予定です。スマイル相談員も週3回、午前中に勤務しています。

10月の教育相談日は19日（水）です。